

「こころふれあう 町民のつどい」 映画会 & 講演会

- ▶日時 12月9日(日)
第1部 午後3時30分～5時45分
第2部 午後6時～7時30分
※第1部または2部のみの参加もできます。
- ▶場所 中央公民館 大ホール
※入場無料・満員の際は入場制限があります。



第1部 映画会 「パッチギ!—LOVE&PEACE—」

難病にかかった息子の治療費を稼ぐために、差別されながらも必死に生きる在日韓国・朝鮮人家族の命をつなぐ感動のドラマです。なお、冒頭に激しい喧嘩シーンがありますが、ご了承ください。

※パッチギとは、突き破る・乗り越えるまたは、頭突きの意



第2部 講演会 「差別・偏見にパッチギ!」—共生は愛と平和— 講師 井筒 和幸監督

「パッチギ!」で日本の映画賞総ナメし、テレビやCMでも大活躍の井筒監督。続編となる上記の映画とともに、差別への憤りや戦争への怒り、命の尊さと家族愛というメッセージを強烈に伝えてもらいます。乞うご期待!

主催/播磨町、播磨町教育委員会 共催/播磨町人権・同和教育研究協議会 協力/手話サークルはりま、要約筆記ひまわり

「祭り」は 地域の豊かな出会いの場!

ちづくりの主たるイベントとして、改めてクローズアップされてきています。

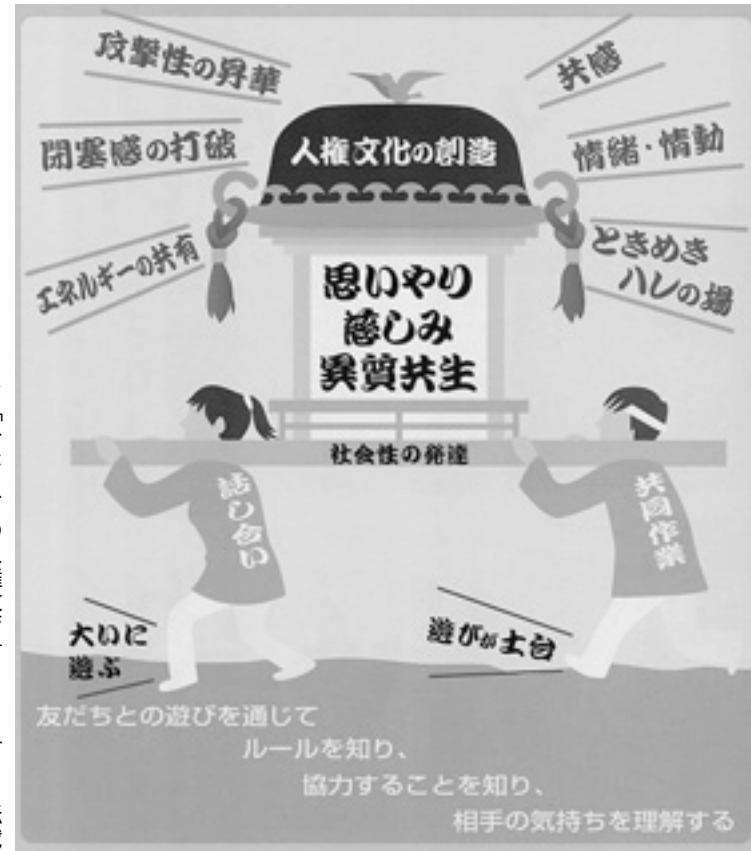
「人類は、自然の中で、人と人、人と物、人と自然としっかりと向き合い苦勞と困難を共にする営みのなかで、思いを通わせ愛着を醸し出し、相互尊重の念を培ってきたのである。それでも、ともすれば喧嘩や闘争が起こることを見越して、生活の節目に「祭り」を創造したのである。「祭り」は、民衆が同じ条件で同じ行動をし、胸襟を開いて共感す

る「ハレの世界」を意図的に創り出すことによって、普段のこだわりや攻撃心を和らげ、互いの愛着を取り戻す営みであった。いわば差別解消の営みといえよう。〈中略〉高度情報化、都市化、グローバル化等が進展し、効率化、利便性はますます増していく反面、人心はばらばらになり、苛立ちささくれだつていく感がある。今こそ、人と人がしっかりと向き合い共感し合える「祭りの創造」が重要になってきているといえよう」(兵庫県人権教

育研究協議会発行「ひょうこの人権教育」139号より抜粋)

播磨町で行われた自治会での「祭り」で、参加したくてもできなかった方(寝たきりや病気で)へおでんを届けて大変喜ばれたという報告を受けました。これこそ、地域に住む一人ひとりの思いを共有できる場だからできたことではないでしょうか。

まさしく「祭り」は地域の方々の豊かな出会いを育む場だといえます。



▶「ひょうこの人権教育」139号より転載

このように、一つの行事でも、参加される方のことを思い、役員同士で事前にいろいろ話し合うこと、自治会内の各種団体が常日ごろ地道な活動を続けることが、「いきいきフォーラム」

今年も恒例の「盆踊り大会」を、8月12日に実施しました。大中公園に檜を組み、小学生が描いた行灯を飾り、花火音頭やおどるポンポコリンなどの踊りの他、福引やビンゴゲーム、それにはばタンも登場し、会場の雰囲気盛り上げました。

その結果、今年は昨年以上に盛大な盆踊り大会になり、老若男女合わせ約500人の方々が参加され、全員で踊る総踊りは、四重の輪になりました。

盆踊りの成功の要因は、大中東自治会の各種団体役員で構成された社会教育推進部会の方々の人念な打ち合わせと、防犯安全員や、平成18年に新規にできた各サークル、いきいきサロンの日頃の活発な活動が相乗効果として表れたものと思っています。

大中東自治会「いきいきフォーラム」
盆踊り大会
いきいき活動推進委員
山根 巖さん



▲盆踊りのにぎわい

▼話し合いを重ねる役員



豊かな出会いを育む 現代の「祭り」文化

これまでの人権教育・啓発の観点からみれば、「祭り」は氏子加入の問題や女性参画の問題でしばしば注目されてきましたが、時代の流れによる社会意識の変化に伴い、これらの問題も徐々に解消されつつあります。同時に、地域の多くの人々を魅了する「祭り」は、人と人が出会いよりよい人間関係を築いていく場として、また人権尊重のま

のねらいであるよりよい人間関係づくりに役立つものと思えます。